

都小 研小 会報

・発行所
 ・東京都小学校社会科研究会
 ・東京都新宿区四谷2-6
 ・発行人 石井正広
 ・編集人 西谷秀幸

東京大会の成果を継承・発展させ、 十年後の全国大会の基盤をつくる

東京都小学校社会科研究会会長
 新宿区立四谷小学校校長

石井正広



五月の東京都小学校社会科研究会総会において、会長を拝命しました石井正広と申します。皆様と力を合わせて社会科の充実・発展に努めてまいります。

さて、令和五年度に新型コロナウイルス感染症が五類になり、学校の教育も従前のような活動を取り戻すとともに、新たな学校行事の運営方法や働き方改革の推進等これまでにない学校のあり方が求められています。

また、令和三年度の中教審答申「令和の日本型教育」で示された個別最適な学びと協働的な

していこうとする子供を育成する社会科学習を提案したところ、一六〇〇人を越える参加者を迎え、充実した大会にすることができました。改めて、ご参加の皆様と大会を支えてくださった方々に感謝申し上げます。

全国大会が終了すると研究に対する熱量がどうしても下がる傾向があります。全国大会の研究成果を継承・発展させることが大切です。そこで、今年度の本研究会の活動目標を「東京大会の成果を継承・発展させ、十年後の全国大会の基盤をつくる」としました。そのため、次の4点を取組の重点としました。

- (1)大会研究主題を継続し、研究成果を周知することを通して、研究をさらに発展させる。
 - (2)学年部会ごとに研究主題及び研究内容を設定し、創意工夫した実践的研究を推進する。
 - (3)十年後の全国大会を見据えた人材育成を目指し、都小社研独自の研究員制度を立ち上げて基礎的実践研究に取り組む。
 - (4)夏季研究会でのワークショップや地区委員会での講演及び情報交換を通して、東京都の社会科教育の裾野を広げる。
- 今後の研究活動の様子や成果は、ホームページ等を通して積極的に発信していきますので、どうぞご活用ください。

ご勇退役員あいさつ

前東京都小学校社会科研究会監事
 前中野区立北原小学校校長 佐藤 民勇

都内各地から集う社会科好きの仲間と出会い、授業研究と同時に人とのつながりを密にしてくれたのが都小社研です。思い出は尽きません。

平成十四年、研究員同期の加藤雅弘先生に五年部会に誘われたのがきっかけです。翌十五年、十年に一度の全小社研東京大会を部員みんなで創り上げました。平成十九年には、旧中野区立桃園第三小学校（井出良子校長）が研究発表会の会場となり、五年部会として授業公開しました。校長になってからは三年部会に関わりました。毎回、部員とともに楽しく授業研究を行いました。令和五年の全小社研東京大会。その成果を発表しました。今はただ、感謝の一言です。

ありがとうございました

前東京都小学校社会科研究会監事
 前杉並区立救護小学校校長 西脇 裕高

全小社研事務局長、副会長、監事として十三年間お世話になりました。事務局として、全小社研の全国大会のお世話をしながら、各地に出かける機会を得られたことが幸せでした。

各県の先生方の社会科への熱い思いに触れ、また、どこに行っても元気な子供たちの姿が見られ、楽しいことばかりでした。そこに行つて分かること、感じることはばかりで、やはり社会科は足でかせぐという実感を得ました。

引き続き、皆さんの熱い思いがなくなり、都小社研と全小社研がますます発展することを祈ります。長い間、お世話になりました。

お世話になりました

前東京都小学校社会科研究会監事
 前町田市忠生小学校校長 三好 浩一

都小社研では、全小社研事務局次長、幹事として八年間お世話になりました。一番の思い出は、コロナ禍において、全国大会の研究の火を絶やさず、危機を乗り切ったことです。吉藤元会長をはじめ、当時の西脇事務局長や事務局次長の仲間とオンラインやハイブリットという形の大会運営は前代未聞の綱渡り開催でした。北街道大会では、出発前日に自らコロナになり涙をのんだことも。熊本大会の対面再開の喜びは格別でした。各地のお酒のおもてなし、東京大会ではぜひとも恩返し企画をと無理を承知のお願いに、快諾いただいた和田前会長にも御礼申し上げます。都小社研の益々の発展を祈念いたします。

令和六年度 各 部 活 動 計 画

庶務部

部長 小須田 哲史

第六十一回全小社研東京大会を終え、今年度から各部、通常の活動となります。

庶務部は、各部との連絡・調整を行い、都小社研の諸事業が円滑に進められるようにするとともに、各地区部長・地区委員と連携を深め、研究が一層充実するよう取り組んでまいります。

○定期総会、月例研究会、地区部長・地区委員会、夏季研究会、中小社研合同研修会の開催案内の発送や資料作成、会場準備、受付、運営

○「役員・部長・副部長・全小会事務局・地区部長・地区委員名簿」の作成

○研究発表会(二月二十日(木))の運営計画作成、会場運営

庶務部業務の見直しと効率化を進め、都小社研諸事業の更なる充実を図ってまいります。

会計部

部長 中田 伸代

総会にて、令和六年度予算について報告し、ご承認いただきました。また、昨年の東京大会では、皆様のご協力で無事に予算を執行することができました。

事業部

部長 尾上 健二

皆様のご協力に感謝申し上げます。今年度も適切な執行に努めてまいります。ご協力よろしくお願いたします。

渉外部

部長 木村 道人

渉外部では、各地区の研究動向をまとめた「各地区のすがた」や研究紀要の発行、全国小学校社会科研究協議会の窓口業務及び関東地区小学校社会科研究協議会の事務局を担当しています。

また、東京都小学校社会科研究会の地区委員及び各地区の研究部長、OB・OG会員への連絡、各会報等の発送、さらに、関東地区小学校社会科研究協議会理事会への参加、全国大会開催案内の発行等の支援を行っています。

〈今年度の主な業務〉

- * 「各地区のすがた」発行
- * 「研究紀要第三十五集」発行
- * 全小社研理事(部長が担当)
- * 関小社研事務局
- * OB・OG名簿の更新・管理
- * 総会、会報、全国大会等の案内送付(都内・OB・OG)
- * 夏季研究会への運営協力

製紙工場を見学します。午後の伝統産業展示室ばりっせでは、草加市の地場産業について、また煎餅工場では手焼き体験もを行います。

○八月二日(金)

「東京ガス 暮らしを支えるエネルギーインフラ」

ガスの科学館では、都市ガスが家に届くまでの過程、新エネルギーのeメタンについて、また防災対策の取組などについて学びます。

日頃の社会科学習に生かせる教材開発に、ぜひ夏季休業期間を活用してご参加ください。

広報部

部長 西谷 秀幸

広報部は、会報の発行とホームページの充実を目指して活動を行います。

都小社研会報は、第二〇六号(都小社研各部活動計画等)、第二〇七号(島根大会報告等)、第二〇八号(都小社研研究発表会報告等)を、全小社研会報は、第一一二号(島根大会に向けて等)、第一一三号(各都道府県の動向等)の発行を予定しています。

なお、契約業者による「SW A(スクール・ウェブ・アシスト)」のリニューアルに伴い、八月以降に都小社研ホームページを全面リニューアルします。社会科に携わる情報提供を通して全国各地の先生方に役立つようなサイトになるよう、順次、改善を図ってまいります。

全小社研

事務局長 矢部 洋一

六月七日(金)、東京都千代田区の日本出版クラブで第一一六回理事会が開催されました。今年度の役員・事業等が承認され、全国大会の案内もありました。

令和六年度役員

- 会長 石井 正広(東京)
- 副会長 諸角 哲男(東京)
- 平澤 淳志(北海道)
- 飯岡竜太郎(岩手)
- 高島 聡(神奈川)
- 河本 隆明(石川)
- 八木健太郎(名古屋)
- 廣岡 浩(大阪)
- 古谷 修一(広島)
- 深川 隆(香川)
- 末永 道弘(長崎)
- 宮本 雅司(神奈川)
- 風見由起夫(東京)
- 中嶋 太(東京)
- 矢部 洋一(東京)
- 吉川 正(東京)
- 鈴木 優介(東京)
- 酒川 敬史(東京)
- 手塚 成隆(東京)
- 草刈あずさ(東京)
- 西谷 秀幸(東京)
- 会計監査
- 常任幹事
- 事務局長
- 次長
- 調研部長
- 会報部長

二 全国大会
 第六十二回 島根大会
 令和六年十月三十一日(木)
 十一月一日(金)

調査研究部 活動計画
 部長 草刈 あずさ

一 研究主題

「地域に学び、未来を共に拓く生き方を問い続ける社会科学習」互いにかかわりながら、主体的に考え、追究する力の育成を目指して」

令和六年度 和歌山大会
 令和七年二月六日(木)

昨年度、都内四校を会場として行われた全国小学校社会科研究協議会研究大会東京大会の成果と課題を踏まえ、一層、研究を深めるため、研究主題「社会とつながり未来を創る子供の育成」を継続します。

「教材開発や教材の分析という単元構想」と、「授業づくりの手だての工夫」という二つの柱を重視し、学年部会を中心とした研究の充実を図ります。

二 目指す子供像

社会をよく見て、様子や仕組みが分かる子供
 ・くらべたりつなげたりして特色や意味を考える子供
 ・社会的事象の問いをもち、社会の出来事を自分とつなげ、よりよい社会づくりに関わろうとする子供

・ 予想や学習計画立案と子供の思考に即した問いの構成の工夫
 ・ 調べる対象や資料や方法を子供が選んで追究する展開や学習活動の工夫 など
 ・ 見方・考え方が働く学習活動の工夫
 ・ 視点に着目して問いについて調べる学習活動の工夫
 ・ 比較・分類・関連付けて考察する学習活動の工夫
 ・ 社会に見られる課題の解決や関わり方について議論し考えを高め合う学習活動の工夫 など

充実と、都小社研の研究の発信を目的として、都小社研の研究推進委員や一般参加者などを対象とした夏季研究会を計画・実施します。

○令和六年八月二十二日(木)
 新宿区立四谷小学校
 全体会(研究の概要)
 ・ 講演会
 講師 小倉 勝登 先生
 (文部科学省教科調査官)

人材育成の一環として、都小社独自の研究員制度を立ち上げ、実践研究を通じた研究を行います。

・ 総会
 ・ 研究理論及び実践の協議
 ・ 授業実践
 ・ 研究員研究発表会
 ⑤ 授業実践シリーズ
 「新しい授業の創造」
 第二十七集の作成
 ⑥ 都中社研との合同研究会
 都内小・中学校において、継続を意識した社会科授業を充実させるため、都中社研と合同研修会を実施します。

○令和六年十月二十九日(火)
 新宿区立四谷小学校
 ・ 講演会
 講師 藤野 敦 先生
 (文部科学省視学官)
 講師 小倉 勝登 先生
 (文部科学省教科調査官)

三 個人研究論文の募集

・ 締切 令和七年一月十四日(火)
 ・ 主題 「学習指導要領の具現化を目指す社会科指導の工夫」

四 調査・研究・刊行等

・ 会報百十二号(八月発行予定)
 百十三号(二月発行予定)
 (八月発行予定)
 ・ 各地域の動向 令和六年度版
 (八月発行予定)

③ 子供の学びを確かにする評価の工夫
 ・ 三観点による評価計画の作成
 ・ 指導と評価の一体化を図るための評価の工夫
 ・ 子供が自分の学びを振り返り、次の学びに生かす評価活動の工夫 など

③ 研究発表会の実施
 授業及び研究発表によって、都小社研の一年間の研究成果を、広く都内各小学校に発信します。

○令和七年二月二十一日(金)
 板橋区立上板橋第四小学校
 ・ 授業公開
 ・ 学年別分科会
 ・ 全体会(研究の概要)
 ・ 講演会
 講師 小倉 勝登 先生
 (文部科学省教科調査官)

⑦ 全国小学校社会科研究協議会 研究大会への参加
 ○令和六年十月二十一日(木)、十一月一日(金)島根大会
 (課題提案・・・四年部会)
 ○令和七年二月六日(木)、七日(金)和歌山大会
 (課題提案・・・六年部会)

五 次年度全国大会開催の案内
 第六十三回 群馬大会
 令和七年十一月十三日(木)
 十四日(金)

三 研究内容

各学年部会は、単元構成や授業づくりに関する以下の3つの手だてを工夫し、授業研究を進めます。

四 主な取組

① 学年部会の充実
 都内各小学校の校長より推薦された研究推進委員が学年部会を組織し、年間数本の授業実践を中心に研究を進めていきます。

④ 東京都小学校社会科研究会研究員制度【新規事業】
 十年後の東京大会を見据えた

⑦ 全国小学校社会科研究協議会 研究大会への参加
 ○令和六年十月二十一日(木)、十一月一日(金)島根大会
 (課題提案・・・四年部会)
 ○令和七年二月六日(木)、七日(金)和歌山大会
 (課題提案・・・六年部会)

理事会に引き続き、文部科学省教科調査官小倉 勝登先生による教育講演会が開催され、児童の資質・能力の育成に向けて、社会科の授業改善の重要なポイントをご指導いただきました。

① 主体的に問いを追究する工夫
 ・ 問題意識が高まり問いが生まれる社会的事象との出合いの工夫

② 夏季研究会の実施
 都内各小学校の社会科授業の

令和5年度 収支決算書

令和6年度 都小社研役員・部長・副部長 一覧

1. 収入の部

単位＝円

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 備考. Rows include 会費, 寄付金, 雑収入, etc.

2. 支出の部

単位＝円

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 備考. Rows include 諸謝金, 旅費, 印刷製本費, etc.

次年度繰越金 ① ¥1,318,000.- ② ¥1,318,000.- = 0円

令和6年度 収支予算

1. 収入の部

単位＝円

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 備考. Rows include 会費, 東京都教職員研修センター研究賞賜金, etc.

2. 支出の部

単位＝円

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 備考. Rows include 諸謝金, 旅費, 印刷製本費, etc.

1. 役員

Table with 4 columns: 職名, 氏名, 所属校. Rows include 会長 石井正広, 副会長 諸角哲男, etc.

2. 再任用役員

Table with 4 columns: 監事, 氏名, 所属校. Rows include 加藤雅弘, 新貝朗, etc.

3. 部長・副部長

Table with 4 columns: 役職, 氏名, 所属校. Rows include 庶務 部長 小須田哲史, 会計 部長 中田伸代, etc.

4. 全小社研

Table with 4 columns: 職務, 氏名, 所属校. Rows include 事務局長 矢部洋一, 次長 吉川正, etc.

令和6年度都小社研は、石井正弘会長のもとに新しい体制が発足しました。成果を継承・発展させ、十年後の全国大会の基盤をつくることを今年度の活動目標として掲げました。そして、学年部会などの創意工夫した研究、都小社研独自の人材育成、東京都の社会科教育の視野の拡大を取組の重点として示しています。広報部では、ホームページを全面的にリニューアルして、多くの先生方に役立つ情報発信に力を尽くして参ります。

あ と が き